

共に手を取り！

令和8年5月26日 No.4 文責：校長 内藤大輔

倍倍 FIGHT: 険しい道も共に歩む！

初夏の強い日差しの中、子どもたちは運動会の練習に一生懸命励んでいます。普段と違う運動会特別日課となり、体力的にも精神的にも、子どもたちには少なからず負担がかかっていることと思います。お家へ帰ったら、ぜひ頑張りをたくさん褒め、ゆっくり休ませてあげてください。

さて、5月13日には、楡形総合体育館で教職員の研修会があり、山梨大学医学部講師の佐野史和先生から不登校対応についてお話を伺いました。運動会のような大きな行事の前や、生活リズムが変わる時期は、子どもたちも不安やストレスを抱えがちです。そんな中、佐野先生の『不安がゼロになること』がゴールではない。『不安があっても、私は私の人生を進める』と思えることこそが真の回復である」という言葉が、深く心に残りました。

大人はつい先回りして障がいを取り除いてしまいがちですが、それでは子ども自身が壁を乗り越える力を育めません。大きな怪我からは守る必要がありますが、小さな失敗や擦り傷は成長の糧になります。大切なのは、「障がいをなくす」ことではなく、子どもが壁にぶつかったときに「一緒に歩んであげること」なのです。アイドルグループCANDY TUNEの『倍倍FIGHT』という曲に、こんな歌詞があります。

「生きているだけですごいことだから命を誉めよう 倍倍FIGHT」 「できないことよりできることをほら数えてみようよ 倍倍FIGHT」 「険しい道も共に歩むんだ You will never walk alone」

行事の練習で「できないこと」に目が向きがちな今だからこそ、できていることを数え、「生きているだけで満点」と命を褒めてあげたいものです。子どもたちが険しい道を進むとき、私たちは「あなたは一人じゃない」と寄り添う存在でありたいと思います。ご家庭での関わりのヒントになれば幸いです。

涼を味方に、目指せ本番！

連日の運動会練習、子どもたちは本当によく頑張っています。少しでも快適に、そして安全に練習に精を出せるよう、学校でも暑さ対策の秘密兵器を導入しました！「ミストが出る大型扇風機」と、昇降口の上には「ミストシャワーのチューブ」を設置しました。冷たい霧のシャワーをくぐるたび、子どもたちの弾けるような笑顔と歓声が広がっています。恵みの涼を味方につけて、心も体も燃える熱い練習を、教職員一同全力でサポートしていきます！



魅せろ団結！いよいよ今週末、本番へ！

30日の本番に向け、練習は最高潮！低学年は『DYNAMITE』の曲に合わせ、弾ける笑顔で元気いっぱいに演技します。中学年は伝統の『ソーラン節』を、大地を揺らすような力強さで。そして高学年は、風を切る音が美しい、フラッグでの表現に挑みます。高学年らしい静と動の調和は、見る者の心を揺さぶります。これまでの努力のすべてが輝く、最高の演技をお届けします。どうぞ温かいご声援をお願いいたします！

学校 HP の QR



地域とつながる、頼もしい「ちょボラ会」

本校には「学校応援団」という組織があり、コーディネーターの呼びかけで集まった有志による「ちょボラ会」が活動しています。月1回、地域の皆様8名が「ちょっとしたボランティア」として、学校の環境整備や教材作りをサポートしてくださる温かい会です。先日20日、令和8年度の第1回目は、運動会の得点板を彩る花づくりや、玄関に看板を設置してくださいました。また、各地区の協議体、通学路の見守りの方々等、多大な教育支援をいただいております。地域に見守られ、支えられていることに心より感謝申し上げます。

